

事業所名

コスモス地域福祉活動センターえると

放課後等デイサービス 支援プログラム

作成日

2024 年

11 月

11 日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> *だれもが、必要な時に、利用できる福祉制度の確立を目指します。 *利用者の生活と発達を保障し福祉の向上と内容の充実につとめます。 *利用者の健康で文化的な生活と権利をまもり、福祉のネットワークづくりにつとめます。 *地域の人々と共同し施設の民主的な運営につとめます。 *国民の基本的人権の尊重と人類の恒久平和につとめます。 									
	<ul style="list-style-type: none"> ・えるとでは、「3つの柱」を大切に、子どもたちへの支援を行っています。①子どもの願いに寄り添う、②折り合いをつける力を育む。③自己肯定感を育む。 ・子どもたちのできることを増やしていくこと、「できた」から自信に繋げていくこと、他者から認めてもらえる瞬間を作ること、「もっとやってみたい」の気持ちの引き出しを増やすことを、遊びを通して支援し子どもの願いに寄り添いながら、折り合いをつける力や自己肯定感をはぐくんでいきます。 ・子どもが発達・成長していく中で、「快の経験」（心地の良い経験）を広げ、「不快な経験」（新しいこと、苦手な感覚）も受けとめられるように支援していきます。 ・家族の方への、子育ての助言や情報の提供などの支援も大切に行っていきます。 ・祭りや行事に参加し助け合い、地域との関わりを大切にします。 									
営業時間	10 時	0 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり				
支 援 内 容										
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の健康管理をおこない、小さなサインから心身の異変等に気づけるよう観察・観察をおこなっています。 ・食事や排泄、衣服の着脱など生活に必要な動作について、個々に応じて環境の設定を行ったり、介助を行なながら、自分でできることを増やしていくよう支援を行っています。 ・クッキングを通して必要な材料を買い物にいったり、分量の理解や道具の使い方の経験を楽しみながら重ねていきます。また、みんなで一緒に作り食べる事から食べれる物の幅を広げ、偏食対応支援をしていきます。 ・毎日の習慣を大切に宿題支援などおこなっています。 ・遊びを中心としながら、健康で楽しい経験を積み重ねていくことを大切にし、子どもたちが意見を出して活動内容を決めるができるようにしています。 									
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・マットやブランコ、ハンモック等を使用し、身体を動かし楽しみながら体幹を鍛え、バランス感覚、力の強弱や距離感など、さまざまな身体の感覚・感触に触れ身体機能の維持・向上を図ります。 ・小集団で楽しむゲーム遊びなどは、子どもの発達や学年に合わせ楽しめるように支援を行っています。また、運動会などの大集団での競技等は、互いを意識しあい応援したり、ゴールに向かっていく達成感と感動の気持ちを育みあえるように支援していきます。 ・制作活動の中で、ハサミやノリ、鉛筆、絵の具などの道具の使い方を学んだり、色々な感覚を楽しめる支援を行っています。 									
本人支援 認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・まことに、ブロック、パズル、粘土、描画、アイロンビーズなどの活動の中で、手指の使い方や力の加減の仕方、必要な情報を収集し、組み立てをイメージするなど、認知機能の発達を促します。 ・他児と一緒に遊びながら「待つ」「順番を守る」という経験をし、他児の存在や気持ちを意識し活動できるように支援していきます。 ・活発に動いて遊ぶ場所、静かに遊ぶ場所、カームダウンの空間などを設定し、子どもが自ら活動の目的に応じて自分の動きをコントロールできるように支援します。 ・個々の障害特性や発達に応じて、1日の流れや、取り組みの説明等は視覚支援を行い、子ども自らが見通しが持て行動できるように支援します。 									
言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・集団遊びを通して、他の者の気持ちの理解や自分の思いが表出できるように支援します。大人が間に入りながらお互いの気持ちの代弁をしたり、必要に応じて文字や身振り絵カードなどで示すなどの支援を行っています。活動例(トランプやUNO・フルーツバスケット・猛獣狩り・ボードゲーム・パラバルーンなど)。 ・パズル・絵本・絵カード等、遊びや生活中で、身近な物を照らし合わせ言葉を覚えることができるよう支援をおこなっています。 									
人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分は大切」と感じられるように、子どもたちが困ったことや、どうにか助けてほしいことを職員へ伝えられるよう、また、言葉ではなくても発信できるように関係作りを大切にしています。伝えたいことを受け止めてもらえたという経験を積み重ねていく支援を行っています。 ・友だちの楽しそうな様子を見て「やってみたい」と感じられるような雰囲気作り、環境の設定をおこない一緒に遊ぶ楽しい経験の積み重ねをおこなっています。 ・毎月個々の誕生日会を開催し、自分が主役となる瞬間づくりを大切にしています。 ・特定の大人との関係を通して安定した愛着関係をつくり、そこから育まれる安心感や信頼感を基にして他児との関係を広げていきます。 ・散歩に出て、身体を動かしながら公共の場所でのルールを守っていけるよう支援を行っています。 									
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者懇談会(集団)の開催・個別懇談の開催・法人内作業所家族、職員との交流会の開催・参観を通しての交流 ・放デイを卒業した家族と、現在放デイを利用している家族との交流会 ・家族からの相談（きょうだいの支援も含む）に対する適切な助言等 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・園と支援内容についての共有、引継ぎ ・高校卒業時→進路先への支援や情報の引継ぎ、担当者会議への参加 ・ライフステージを見据えた将来的な移行に向けた準備への参加 							
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災訓練への参加 ・事業所まつりの開催・地域の行事（まつり）への参加 ・地域の基幹・障害児相談・放課後等デイサービスの連携 	職員の質の向上	<p>法人内外の研修へ参加(人権研修、虐待研修、マナー研修、発達や強度行動障害への支援・安全衛生大会についてなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっつの取り組み ・KYTの取り組み 							
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・家族と一緒に遠足・初詣・節分・お花見・ひな祭り・プール取り組み・防災体験訓練・外食取り組み・海取り組み・体育館運動遊び・運動会・夏祭り・ハロウィン取り組み クリスマス会・卒業式など。（季節に合わせた行事や夏休みに取り組めるものを記載） 									
	※ 誕生日会(毎月)									